芸術祭企画公演

市民ミュージカル「ロミオとジュリエット」復活篇

舞台稽古を見る

公演まで78日となった12月10日(日) 入曽公民館での舞台稽古を見て来ました。2週間前と違って、出来上がってきたようでした。

「広報さやま」からの取材もあって、本番と同じ衣装の出演者。全員揃ってないが、35名程が通し稽古を進める。もう台本を見る人もなく、澄んだ歌声と大きな声での台詞と動き回る踊り。演出の本田さん、総合監修の天野まりさんも念入りに指導を繰り返す。

文団連スタッフの太田、高橋、岸野、藤寿さんも動き回り、笑いや拍手もあった1時から5時迄たっぷりの稽古でした。「1日だけの公演では勿体ないね」と取材者からも言われたが、本番が待ち遠しい思いでホールを出ました。

(髙沢正夫)

○○○○○○○○○○○○○○

三曲連盟創立40周年記念 定期演奏会を終えて

狭山市三曲連盟40周年記念演奏会　実行委員長　竹迫ミナミ

12月3日，好天に恵まれて40周年記念定期演奏会を盛会裡に終了できました。

ご来場の方々に目でも、耳でも楽しんでいただきたいとの思いから大ホールでの公演を1年前から企画し、プログラムもメンバーのご主人である写真作家の方に写真を提供していただき、パソコンの得意なメンバーが原稿を作成して、写真集のようなプログラムになりました。またアイディア豊富なメンバーと舞台美術の得意なメンバーとで、見事な舞台装置が完成し、ひときわ演奏も映えたようでした。

観客のお一人から寄せられた感想文に、疲れも一瞬で吹き飛んだ思いが致しております。ご披露させていただきます。

文化庁伝統文化親子教室参加者を交えた演奏「さくら･21」

《あっと驚く60名ほどの「六段の調」の豪華さに始まり、第一部の一時間半、子供達への心温まる配慮伝わり今後への期待も深まりました。圧巻は第二部、どれもこれもプロの世界の演奏を心地よく拝聴させていました。尺八の協奏曲、「かまくら」(北国雪賦)の箏の音にうっとり、太鼓と尺の演奏、泣かせる「かさじぞう」の語りにしっとり演奏、そして、これぞ今までに聞いた事のない日本民謡の組曲！一糸乱れぬプロの演奏、お箏の巧みな演奏、それに民謡独特の太鼓を交えた集大成の大演奏に、ときめきと、感動をせずにはいられない時間でした。ただ思うだけではと、一言最高の演奏会の感想を言わせていただきました。》

山田流箏曲「三番叟」の演奏

ご多忙の中、ご来場いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。